

志木小学校だより

平成30年度8, 9月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

8/29児童数 717名

己を知り、プラス思考で!

校長 坂口 栄二



江戸時代のハリ

レインボーブリッジにある文化財

今日から2学期です!!

今年の夏休みは、猛暑、酷暑、多くの台風発生。ゲリラ豪雨等、異常気象の夏でしたが、子供たちはたくさんの経験をして元気に登校してくれました。2学期も自分の力を信じ、**プラス思考で様々なことに挑戦**してほしいと思います。

そして、大人になって**社会で生き抜いていくための力**を身につけてほしいと思います。

彼を知り己を知れば百戦あやうからず

これは中国の有名な兵法書に書かれている格言です。「**相手のことをよく知るとともに、自分自身のよさや実力も知って戦えば、何度戦っても勝つことができる**」という意味です。この格言は、私たちの日常生活においてもあてはまると考えています。

たとえば、**漢字の学習**。

まず、「**相手(漢字)を知る**」。漢字の成り立ちや意味、使い方等を考えながら練習すると使える漢字を覚えられます。

次に、「**己を知る**。」自分はどのような学習をしたら漢字を覚えられるのか。「見ただけで覚えられるのか。10回書けば覚えられるのか。リズムに乗った方が覚えられるのか。」など、自分の**今もっている力や特徴を知る**ことが大切です。

この「漢字を知る」「己を知る」の2つができれば、間違いなく使える漢字を覚えることができます。漢字の学習だけでなく、日常生活の中の**問題や課題に対しても、その内容を理解するとともに、自分のよさを生かすこと**で解決することができるのです。

4(フォー)スタンス理論

4スタンス理論とは、「**ヒトの体の動かし方は4つのタイプに分かれる。自分のタイプを知り、そのタイプにあった体の使い方をすれば、体に負担をかけず、本来の能力を最大限発揮できる**。」という考え方です。

例えば、マイクの持ち方は、人によって次の4つのタイプに分かれるそうです。



Aタイプ…指先でつまむように握る。

①人差し指、中指の指先を中心にするタイプ ②薬指、中指の指先を中心にするタイプ

Bタイプ…手のひらで包むように握る。

①人差し指、中指の付け根を中心にするタイプ ②薬指、中指の付け根を中心にするタイプ

つまり、物を握る時、「Aタイプの人あまり深く握らず指先に力を入れて握ると力が出せる人」「Bタイプの人深く握り手のひらに力を入れて握ると力が出せる人」ということがいえるそうです。

このように、誰にもタイプがあり、一人一人違いがあります。そのような**人とは違う自分の特徴を知ることが「己を知る」こと**なのです。そして、その**特徴を生かした行動をすれば、自分のもてる力を存分に発揮できる**のです。

己を知るときに大切なことは、**自分の特徴をプラス思考で考える**ことです。**プラス思考で考える**ことで自信がもて、様々なことに挑戦することができます。「自分のもっている特徴は素晴らしい、この特徴をどのように生かしていったらよいのだろうか。」と考えられると、**自分のことが好き**になり、**何事にも前向きに取り組む**ことができるのです。

今後も子供たちが自分の特徴を知り、プラス思考で生活できるようになるために、今学期も家庭・地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。